



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2023.1.26



# 教育委員会だより No.138

愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

## 2022 こども映画学校 in 天栄村

昨年12月25日（日）、26日（月）、27日（火）の3日間にわたり、本村2回目となる「こども映画学校」を開催しました。

本事業は村が主催したもので、福島こどものみらい映画祭実行委員会並びに映画制作会社「楽映舎」協力のもと、子どもたちに、映画制作のプロの方たちの指導を受けながら、映画の台本作りから、演技、撮影、宣伝、配給までの一連の流れを体験してもらうものです。今回は、村内の小・中学生10名が映画制作にチャレンジしました。

初日は内容決めと台本作り。大テーマ「天栄村のヒーロー」を受けて、どのようなお話にするか話し合いがなされました。「どんなヒーローが必要かな?」「SDGsに関係したものは?」など、大変活発な議論が丸一日続きました。

二日目は、いよいよ撮影スタート。子どもたちは、監督やスタッフの方々の指導を受けながら、役を演じたり、カメラ等の機器を操作したりしました。みんなもちろん初めての経験なので、最初は戸惑うことも多かったですが、次第に慣れ、「本番!!」「スタート!!」の掛け声も大きくなっていきました。風が強く、大変寒い日でしたが、最高の作品を目指して、外での撮影も頑張りました。

最終日。この日は最後の撮影とタイトル決め、宣伝のためのポスター制作、そして映画発表会が行われました。発表会にはたくさんの方々に来ていただきました。映画は8分程度の短い物ではありましたが、子どもたちの「天栄村をいつまでも大切にしていこう!!」「だれでも天栄村を守ることができるヒーローになれるんだ!!」という強いメッセージが込められた、感動する作品となりました。

3日間の様子（写真）と子どもたちの感想を少しご紹介いたします。



自分たちのアイデアや想像力で一つの映画ができたことに不思議な気持ちになりました。

学んだことは仲間とのチームワークです。仲間っていいなと思いました。

普通では経験できないことができてとても楽しかったです。

大きくなったら、映画のお仕事も楽しそうだなと思いました。

撮影の時は、寒い中、マイクが重くて大変だったけど、落とさないように頑張りました。

映画作りで監督として声を出す場面がありました。これを後にいかしていきたいです。

## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

### ○「令和4年度てんえいアクティビティクラブ×湯本しぜん塾」

12月17日（土）、湯本支所を会場に今年度3回目のてんえいアクティビティクラブと湯本しぜん塾の共同活動が行われました。今回は、湯本地区在住の星裕香里さんを講師に、正月飾りの製作を行いました。参加した子どもたちは、講師の先生より製作の手順とそれぞれの飾りのもつ意味合いについて説明を受けた後、わらを結び、そして思い思いの飾りを施し、個性あふれる正月飾りを完成させました。



12月21日（水）、天栄村生涯学習センターで立志式が開催され、元服の歳である14歳を迎える天栄中学校の2年生44名が式に臨みました。

式では、久保教育長から代表の揚妻大智君に立志証書が手渡され、清水栄一教育委員からは代表の大木彩乃さんに記念品が贈呈されました。また、立志の誓いとして数名の生徒より立志を迎えた自分に贈る言葉の発表があり、将来の目標に向けて誓いを立てました。



### ○「つなぐ英語教育推進事業」

1月5日（木）、天栄中学校で天栄中学生と、早稲田大学国際教養学部の学生を中心としたサークル「セカクル」が、英語プログラムを通じた交流を行いました。1,2年生の参加希望者12名とセカクルメンバー5名が英語プログラムを行い、「世界の食に触れよう！」をテーマにゲーム形式で世界の食を学びながら英語に触れることができました。最後は理想の昼食についてプレゼンテーションを英語で行うなど終始和やかに活動し、参加した生徒は積極的に英語と触れ合うことができました。

